

んだすな

きみまち阪東立自然公園



きみまち阪東立自然公園内に、能代市が窓文のまちづくり事業で制作していた「きみまち阪東記念モニュメント」が完成しました。来春の同公園のさくらまつりの際にお披露目予定です、楽しみですね！



NPO・商工会・行政等多様な主体による協働。
地域、そして訪れる人の心を紡いで・・・

二ツ井町ではここ数年、春のきみまち阪桜まつり、秋の「きみまち阪紅葉まつり」、その中で行う「うまいもの大集合 in 二ツ井」等が行われており、認知度は高まり、このイベント目当てに来町される方が増えています。

国道7号線沿いにある「道の駅ふたつ井」の一角にこれらイベントを主催する「NPO法人二ツ井町観光協会」（以下二ツ井町観光協会）の事務所があります。

二ツ井町観光協会は、能代市から補助金を得て、さらに道の駅ふたつ井の美化事業と、自主事業として天神工房活用事業を行っています。

十数年前から地元の愛好家たちと行ってきた米代川カヌー体験ツアー等を今後も継続していくことや、昭和30年代から任意団体として活動して来た二ツ井町観光協会の将来への自立に向けて、平成24年12月法人格を取得しました。

平成25年10月には、能代市から閉校した「天神小学校」を活用し、「木工工作」と「カヌー製作」の体験施設「天神工房」としてリニューアルオープンしました。

「木工教室は、当初から募集人員を上回る盛況で、県北地域全域に広がりを見せています。作品のアイデア、設計に日夜頭を悩ませているところですが、良い反応を力に日々奮闘しています。（木工工作担当：桜田さん）」

「カヌー製作は、キット・完成品販売・製作指導とありますが、キット・完成品販売は、問い合わせも多く、県外にも販売しています。広いスペースの「天神工房」では、自分で作る楽しさやマイカヌーを所有する喜びを味わっていただきたいと思っています。

昨年の米代川カヌー体験（6～9月・5回コース）では、工房で制作したカヌーの参加者もあり、楽しそうに漕ぐ姿をみてやりがいを感じています。（カヌー製作担当：成田さん）

工藤事務局長は「カヌー体験教室」を、常時体験できるようにしたいが、スタッフの確保やカヌーの運搬費用等の課題を話していました。



工藤事務局長と秋林さん

現在、賑わい創出事業の一環として、能代市、商工会、二ツ井町観光協会の協働による話し合いを行い、きみまち阪～七座山～帯をトレッキングコースとして開発する計画や、二ツ井町の観光資源を活用した体験型観光を充実させ、交流人口拡大による地域活性化と地域ビジネスにつなげていきたいと話していました。



カヌー製作指導及び販売（通年）



木工教室の開催（毎月一回）

NPO法人
二ツ井町観光協会
〒018-3102
秋田県能代市二ツ井町
小繋字中島 110-5
Tel：0185-73-5075
Fax：0185-73-4081

HP：<http://www.shirakami.or.jp/~futatsui-kankou/>
E-mail：futatsui-kankou@shirakami.or.jp

※原文のまま記載しています。

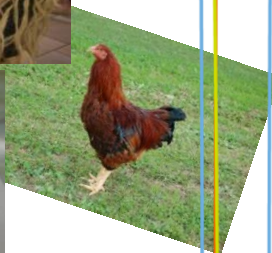
**特定非営利活動法人
あきた悠久の森**



京急との連帯事業に参加



水フキ苗の無菌栽培



Ⓔ秋田北鷹ケイボン

事業内容／地域資源の活用

設 立 日／平成26年9月11日

代 表／佐藤 正幸さん

連 絡 先／〒018-4512

北秋田市根森田字杉の下62番地

Tel・Fax／0186-75-2432

E-mail／sato-masayuki075@akita-pref.ed.jp

本法人は、平成26年9月に設立し、会員15名で構成され、その中には高校生が3名参加し、活動している。ボランティア活動を中心に取り組んでいるが、今年度は、農林業の保安全管理の一環として、林道を維持するための組織づくりへの協力、連携をはかる。

京急百貨店と秋田北鷹高校と連携した「空弁」の販売等に参加し、PRする。比内地鶏去勢鶏を商標登録「秋田北鷹ケイボン」を取得したことにより、高校生と連携・協力しながら特産品の開発を目指している。新しい取組みとして「水フキ」苗の増殖について研究にも積極的に取り組んでいる。平成27年度は、継続した事業を展開しながら、植樹ボランティア活動、ダム湖周辺の環境保全活動等を行い、地域活性化につながるような運動を展開する。

**特定非営利活動法人
コールサービス 孫の手**



利用者さんのお買いもの付添い

事業内容／高齢者生活支援

設 立 日／平成26年11月1日

代 表／本田 立子さん

連 絡 先／〒018-5334

鹿角市十和田毛馬内

字上陣場48番地1

Tel：0186-35-4835

Fax：0186-35-2922

E-mail／hokubu@jade.plala.or.jp

この事業は、高齢者が日常生活に不便を感じる部分への生活支援を行うものです。

買い物を楽しんでいただくために、「毛馬内こもせ商店街協同組合」「コナンカード組合」に加入、さらにバス路線から外れている集落等と協定を結び、病院への通院・付添い、買い物サポート、安否確認、有事の際の見守り、また地域高齢者が交流できるコミュニティーの場を作る計画をしております。

「少子高齢化」と言われ続け、今後ますます本事業の必要が高まることが予想され、閉塞感漂う現代社会、今、鹿角から変えていき、明るい豊かな社会づくりの一助になるように頑張ります。

特定非営利活動法人 ハートランドひまわり



手
作
り
ぬ
い
ぐる
み
販
売
し
て
い
ま
す

秋
田
杉
の
箸



事業内容／障がい者支援事業

設 立 日／平成26年11月28日

代 表／湊屋 和子さん

連 絡 先／〒017-0044

大館市御成町1丁目9番地7

Tel : 090 - 2956 - 3710

Fax : 0186 - 49 - 7715

E-mail／himawarichokotto@gmail.com

当法人は、精神障がい当事者（以下当事者）の自立支援を目的として、当事者と家族及びその支援者で平成18年に結成された「ひまわりの会」が前身であり、平成26年11月末に登記されたばかりのNPO法人です。

当事者は人間関係を構築する上で大切なコミュニケーションをとることを苦手としています。そこで当法人では、「チョコット手伝い隊」という独自の事業を展開し、当事者自らが社会貢献や地域支援の仕事（例；除雪、買い物代行等）を通じて人間関係の構築や地域社会で生活するスキルの修得の促進を図るものです。平成23年度の依頼件数は1280件あり、その殆どが高齢者の生活支援が中心です。

その他秋田杉の箸をはじめとした木工製品の製造販売を行ったり、イベントや地域の小学校において「マイ箸づくり体験」も展開しております。

特定非営利活動法人 尚生ふくし園



事業内容／障がい者支援

設 立 日／平成26年12月25日

代 表／藤田 貴子さん

連 絡 先／〒016-0882

能代市字鳳凰岱94番地12

Tel・Fax／0185 - 55 - 2169

E-mail／shouki_2014@yahoo.co.jp

- ① サポートとして
障がい者及び障がい児に対して、必要な余暇サポートと自立サポートを行ないます。
- ② 遊び・学びの場として
創作活動・レクリエーションなど色々な活動を通して、自立した日常生活、または社会生活を営むことができるよう、応援します。また障がい者及び障がい児を支える家族や地域の方々のための講習会なども行い、理解を深めるための活動をすすめます。
- ③ 集いの場として
本人・家族同士の情報共有や、地域の人たちとの交流の懸け橋として、相互理解を深める活動をいたします。
- ④ 地域の一員として
地域とのふれあいを大切にし、ボランティア活動を通して地域に貢献します。

シニア情報生活アドバイザー養成講座

〔シニアのリーダーを育成します！〕

平成26年度、あきたスギッチファンドの助成金を受けたNPO法人ITサポートあきたによる「シニア情報生活アドバイザー養成講座」が、10月末～11月の6日間にわたって開催されました。

講座終了後には認定試験があり、結果、受講生3名、全員合格しました！！（受講資格はおおむね50歳以上です）

合格者の皆さんは、現在パソコンサークル等に参加し、アドバイザーとしての研鑽を積んでいます。

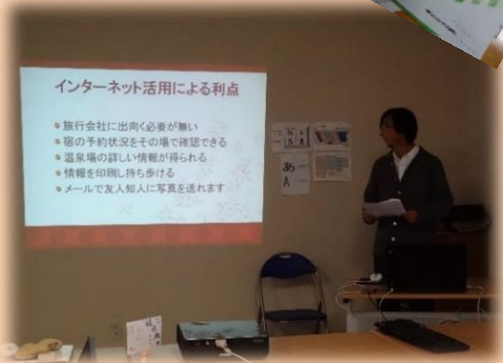
全国でもたくさんのアドバイザーが活躍しています。

〈合格者の声〉

- ・ パソコンのいろはを知ると同時に、やはり基礎知識の無さを痛感し愕然としました。正直なところ、ここまで深い知識を求められるとは思いませんでした。
シニアのパソコン使用に関しては、力量の差が大きいので、それぞれの方にあつたアドバイスができるように頑張ります！
- ・ パソコンは、想像していた以上に奥が深いし自分では解らないことだらけだった。先生方の熱意、励ましに何とかしなければ！と思ひ頑張りました。
- ・ 動機は「興味があつたから」。何かしらの資格が欲しかったのも真面目な話です。期間が短くてちょっとついていくのがしんどいかなと思ひましたが、合格できて良かったです。



アドバイザーとは？・・・



マイプランをプレゼンテーションする受講生

※詳細はこちらをご覧ください。

財団法人ニューメディア開発協会

URL : <http://www.nmda.or.jp/mellow/adviser/seido.html>

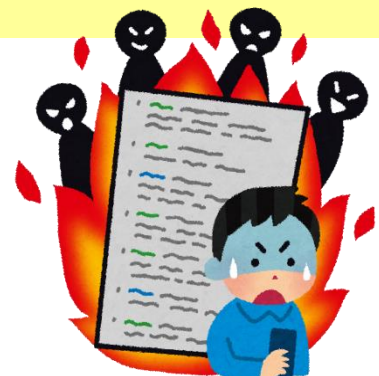
メディアリテラシー能力の必要性



最近 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)等で感動話やスキャンダラスな誹い文句で購読欲を掻き立てる、『バイラルメディア』というものが増えています。読みたいと思ってクリックすると「いいね！」ボタンを押すことになり、悪質なケースでは読んだ人の個人情報を得て、金融機関メールを送りつけてくるものもあります。

いつこのだれが書いたかわからないネットでの曖昧な情報を見て「ゆるせない！」「感動した！」「みんなに知らせなきゃ！」という言葉や反応がネット上で飛び交うこともあります。情報を見てすぐに判断してしまうことは時には自分の個人情報をさらすことになったり、世論を巻き込んで炎上したりするなど、とても危険なことです。インターネットで情報収集している際、興味を惹かれるままに記事等を読んでいくと、そういった思わぬ落とし穴があります。

『メディアリテラシー』という言葉がよくニュース等でも使われますが聞いたことはありますか？「情報を評価・識別する能力」、「情報を批判的に読み取る」という意味があります。市民活動においても物事を自分で選択・判断していく能力が必要となります。情報があふれる時代だからこそ、その情報が本当のことなのか疑ってみることが必要です。



INFORMATION

イベント・講座情報

2/17
(火)

もっと笑顔に もっと豊かに
(藤里町)

ケーシー高峰氏の文化講演会

- ・会 場：藤里町総合開発センター
- ・時 間：18：00～
- ・入場料：無料
- 【主催・お問合せ】
藤里町教育委員会
Tel：0185 - 79 - 1327

2/21
(土)

女性のお仕事マーケット
(秋田市)

女性の再就職や起業を応援します
わくわく職業体験で☆自分発見

- ・会 場：イオンモールあきた
- ・時 間：11：00～16：00
- ・入場料：無料
(材料費等が必要なブースもあります)
- ・託 児：2 時間無料(10 名程度・事前申込必要)
- ・主 催：秋田県(担当：秋田地域振興局)
- 【お問合せ・お申込み先】
オルウィーブ合同会社
Tel：018 - 834 - 8625

2/22
(日)

かんじきトレッキング！
(ニツ井町)

冬のふたつ・七座山を、かんじきを履いて自然観察に出かけよう！

- ・集合場所：「道の駅」ふたつ観光案内所前
8：00 集合(受付)
- ・時 間：8：00～15：00
- ・コース：七座山縦走
- ・募集人員：20 名(ガイドが同行します)
- ・参加費：1 人 2,000 円(当日払い)
- ・申込み方法：
各自準備品がありますので、お問合せ下さい。
かんじき及びスノーシューの有無等
- 【主催・お問合せ・お申込み先】
NPO 法人ニツ井町観光協会
Tel：0185 - 73 - 5075
Fax：0185 - 73 - 4081

2/22
(日)

人生 60 歳からが面白い！
ワークショップ (秋田市)

60 歳からの人生は第二の人生ではない。60 歳からの人生こそ自己実現ができる本当の人生です。

- ・会 場：遊学舎 研修室 5

- ・時 間：14：00～15：30
- ・参加費：無料(事前申し込み必要です)
- 【主催・お問合せ・お申込み先】
日本笑い学会会員
人生亭喜楽駄朗(じんせいていきらくだろう)
携帯：090-5232-8009
E-mail：xmwpn686@yahoo.co.jp

2/25
(水)

集客のための効果的な
情報発信 (能代市)

Web や SNS からどのように情報を得て活動につなげているか、また、効果課的な情報発信のための Web 活用セミナー

- ・会 場：秋田県山本地域振興局
- ・時 間：14：00～16：45
- 【主催・お問合せ・お申込み先】
秋田県山本地域振興局 地域企画課
Tel：0185-55-8006
Fax：0185-55-2296
E-mail：yamasou@pref.akita.ig.jp

2/27
(金)

森吉山 樹氷フォーラム
(北秋田市)

樹氷観光の可能性を考える

- ・会 場：阿仁ふるさと文化センター
- ・時 間：13：00～15：00
- ・基調講演とパネルディスカッション
- 【主催・お問合せ】
秋田県北秋田地域振興局 総務企画部
Tel：0186-62-1251

3/ 1
(日)

長谷川博之 教育講演会
(秋田市)

県内有数の教育困難校に赴任後、学校改善に尽力。その中学校を荒れから立て直した、若き現職教師が秋田で初講演！

- ・会 場：秋田県教育会館
- ・時 間：10：30～12：00(受付 10：00)
- ・会場費・資料代：1,000 円
- 【主催・お問合せ・お申込み先】
NPO 法人 あきた花咲く教師カネット
E-mail：m.wataru@aurora.ocn.ne.jp(村上弥)

3/ 1
(日)

アルヴェ市民活動フェスタ
2015 (秋田市)

まちの元気に会いに行こう♪

- ・会 場：アルヴェ1 階きらめき広場(秋田駅直結)
- ・時 間：11：00～15：30
- ・主 催：秋田市民交流プラザ管理室
- 【お問合せ】
市民交流サロン
Tel：018-887-5312



『共感力』 について

市民活動相談業務担当の
高坂翔です。

NPO の活動に共感してもらい、会員になってもらう、または寄付や助成金を提供してもらう等の実際の行動に移してもらうには、広報活動がだいじであると10月号で書きました。もう少し突っ込んだ書き方をするとNPOの活動に共感してもらうことがポイントとなってきます。今回は、共感してもらうとはどういうことかについて書いていきます。

コミュニケーションの視点から

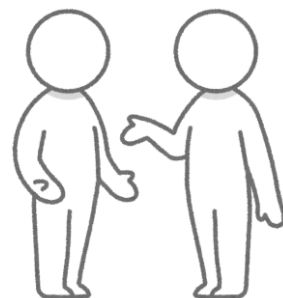


まずはコミュニケーションの視点から考えてみます。コミュニケーションにおいて使われる共感による誤解で、「自分が相手と同じように感じる」というものがあります。相手の気持ちを察することはできても、完全に分かることは基本的には不可能です。相手と同じ気持ちになることで相手の問題は解決しません。だからこそ、相手に自分が思っていることや、相手を大事に思っていること等を伝える(確認する)、もしくは具体的な行動を起こすことが大事になってきます。

そこでNPOに何が求められるのかと言いますと、活動の分かりやすさが大事になってきます。

例えば、NPOが助成金を得る際、活動に対して「実現してほしいな」という共感を得たい場合があります。「この事業について、〇〇の成果を出すために

〇〇円の資金が必要で、あと〇万円がどうしても援助してほしい」や〇〇年後に向けての中長期のビジョン等、具体的に伝えることで、援助したいと思ってもらいやすくなります。



共感の関係づくり



NPOが市民や行政、企業との関係性において、「この人なら解決してくれる」と思われること、逆にNPOが「この人ならなんでも頼める(相談できる)」と考えることでお互いの信頼関係を築くことが大事です。そんな関係が増えればサポートしやすい(されやすい)団体となりえます。それには、分かりやすく見せる(伝える)ことが大事だと思います。

情報を発信する

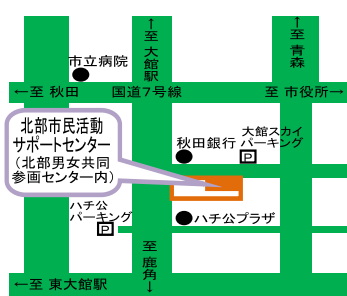
ホームページ、Facebook、ツイッター、ブログ等のウェブで活動を伝えていくことも有効なツールです。

今年度の10月号、第4回(広報活動について)でも情報発信に触れておりますので、もしよろしければこちらをご覧ください。

<http://www.akita-kenmin.jp/public-magazine/docs/2014101700064/files/ndasuna1410.pdf>



『んだすな』には、人と人が
願いを共感し、協力し合えたら
という想いが込められています。



編集：北部市民活動サポートセンター
〒017-0842

秋田県大館市宇馬喰町 48-1

- TEL. 0186-49-8553
- FAX. 0186-49-8589
- <http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>
- E-mail anec1@io.ocn.ne.jp

